

「灯明」の前で山根副知事(右)に思いを語る高山さん



平和を願う油彩画 県に寄贈

南区の高山さん 被爆・終戦80年で

広島市南区の画家高山博子さん(67)が、被爆・終戦80年を機に、平和をテーマにした油彩画を県に寄贈した。2025年度内に中区の県民文化センターに飾られる。

作品は日展出品作「灯明」。インドの民族衣装サリーをまとった女性を描いた。両手を広げる様子に世界を包み込む愛を表現した。高山さんは20代の頃からインドを30回近く訪問。同国首相に作品を贈ったり、広島日印協会の副会長を務めたりして、広島とインドの

文化交流に尽力している。

県庁であった贈呈式で山根健嗣副知事から感謝状を受け取った。高山さ

んは「戦争で親族を多く失った。見た人の心に平和の明かりがとまりますように」と話した。

(仁科裕成)